

# 高校会議所 全国大会で発表交流 ボランティア・アワード

富士宮高校会議所は、このほど、社会貢献に取り組み高校生が発表・交流する全国大会「高校生ボランティア・アワード2024」に参加した。リサイクル堆肥「マスマス元肥(げんぴ)」を使ったSDGs実践を発表し、多くの関心を集めた。会員が市役所で須藤秀忠市長に報告した。

同アワードは、風立つライオン基金による顕彰事業。6月のオンライン活動発表交流

会で88のブース発表団体を選出し、8月の東京都内での全国大会につなげた。

高校会議所は「マスマス元肥を使って、富士宮市をマスマス元気！」と題したプロジェクトを発表した。耕作放棄地への有効活用で、小学生と一緒にヒマワリを栽培し、種から製

須藤市長に取り組みを説明(上) 全国大会での出店ブースの様子(下) 提供写真



造した油を使ったスイーツの開発を進め、ジャムボカボチャコンテストも実施するなどの進

展状況を紹介した。メンバーはマスマス元肥、ヒマワリ油とケーキ、ジャムボカボチャ



などを持参して、須藤市長に取り組みを説明した。全国大会では多くの高校生やゲストが

富士宮高校会議所のブースに来て、話を興味深く聞いてくれた。今後の活動の参考になる意見もたくさん集まった」と報告した。